

令和7年度 第5回 北部公民館運営審議会
議事録

日	時	令和8年3月17日(火)
		午後1時32分～3時47分
会	場	船橋市北部公民館2階 第2集会室

午後 1 時 3 2 分開会

○事務局（二和公民館長）

それでは、定刻となりましたので、これより令和 7 年度第 5 回北部公民館運営審議会を始めさせていただきます。

開催に先立ちまして、事務連絡がございます。

本日の会議について、朝隈委員長からご都合により欠席される旨のご連絡をいただきました。委員長不在の場合は、船橋市公民館条例施行規則第 14 条第 3 項の規定により、副委員長がその職務を代理することになっておりますので、本日の議長は金子副委員長にお願いすることとなります。金子副委員長、本日はよろしくお願いいたします。

また、前回と同様に、北部公民館長補佐が休暇をいただいておりますことから、本日の会議は、私、二和公民館長の小倉が代理で司会を務めさせていただくことでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○事務局（二和公民館長）

ありがとうございます。それでは、着座にて失礼させていただきます。

次に、配付資料のご確認をお願いいたします。事前にお渡ししました北部公民館運営審議会資料としまして、3 月 31 日までの事業報告、次に、8 年度事業計画の A4 縦の仕様のもの A4 横のもの 2 種類が各公民館分ございます。また、本日お手元に配付させていただいたものといたしまして、各公民館の館報、北部公民館運営審議会会議日程、それから、船橋市総合教育センター発行の教育情報誌「まなびの風（第 84 号）」でございます。ご持参をお願いしておりました資料、また、本日配付分の資料に不足がございましたら、挙手にてお知らせください。

なお、会議録作成のため、本日は株式会社トークアトラスのスタッフさんが同席いたします。

では、ここで金子副委員長より一言ご挨拶をお願いいたします。

○金子副委員長

こんにちは。今日は朝隈委員長が都合でお休みということで、副委員長の金子が議事を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局（二和公民館長）

ありがとうございました。

続きまして、北部公民館長より挨拶を申し上げます。

○北部公民館長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。着座にて失礼します。

前回の会議で時がたつのが早いというお話をさせていただいたところですが、本日

の会議で今年度の北部公民館運営審議会は最後になります。委員の皆様の任期は4月26日までとなっておりますが、会議体の開催はこれで終わりになります。これまで、専門的、また、利用者的な視点から公民館運営に係る様々なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

さて、来年度の休館についてのご報告でございます。三咲公民館ですが、7月から来年の3月まで、受水槽の更新、トイレ改修、エレベーター更新の各工事により休館となります。市全体としましては、このほか、高根公民館が空調設備更新とトイレ改修、丸山公民館がトイレ改修、薬田台公民館が受水槽更新等で、それぞれ6月から来年の3月まで休館となります。休館に伴いまして、利用団体には近隣の公民館の代替利用等を促しておりまして、各公民館でできる限り受け入れる方向で検討してまいります。また、既にお知らせしましたが、12月1日から2年間、大規模改修ということで、中央公民館と市民文化ホールが休館に入っております。

以上、連絡事項です。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（二和公民館長）

次に、本日の会議の成立の有無についてご報告いたします。先ほどご報告いたしましたとおり、本日は朝隈委員長から欠席のご連絡をいただいております。結果、本日の審議会は委員10名中9名の出席をいただいておりますので、半数以上の出席がございますので、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、この会議は成立いたします。

次に、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。議事録作成のため会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承願います。議事録につきましても、後日、船橋市ホームページにて公開となります。

また、この会議の開催につきましては、市のホームページで事前に公表し、傍聴人の定員を5名といたしました。なお、本日の傍聴人はおりません。

それでは、副委員長、よろしくお願いいたします。

○金子副委員長

ただいまより、令和7年度第5回北部公民館運営審議会を開催いたします。

では、議事に進みたいと思います。本日の議事はお手元にある資料のとおりです。

議事（1）「事業報告（12月16日～3月31日）」です。事業報告については、事業内容を事業計画のときに既に説明しているため、結果について報告を要する事項に絞るようお願いいたします。

では、議事（1）「事業報告（12月16日～3月31日）」について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。また、ご意見、質問等につきましては、8公民館全部が終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、北部公民館からよろしくお願いいたします。

○北部公民館長

それでは、北部公民館の令和7年12月16日から令和8年3月31日までの事業報告について、要点を絞ってご説明させていただきます。

まず、青少年対象の事業としまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。2段目の「陶芸体験“どうぶつを作る”」は講師の都合により休止とし、当初から計画していました3段目の「みんなでポッチャ体験」のみの開催となりました。この3段目のポッチャ体験は4ページの中段にもございますが、地域の高齢者等との協働でゲームをすることにより世代間交流を図るもので、1ページ目に記載している参加者数は青少年の数字となっております。4ページのほうは成人と合わせた合計数となっております。

次に、下の段の「子どもまつり」です。昨年にはなかった取組としまして、「ドローン操作体験とプログラミング体験」を講堂で実施したところ、大変好評で、多くの待ちが出る状況で、テレビでよく見るドローンを自分が操作する体験ということで、子供たちは大変楽しんでいました。これは、豊富高校にeスポーツ同好会が設立されると聞き、校長に何かご協力いただけないかとお願いしていたところ、高校入試対応でお忙しい中、このような形で、先生2名、生徒4名のボランティア参加がかなったものです。今回、パソコン等、インフラの準備などで実現ができませんでしたが、本来のeスポーツでの参加につきましては、来年度の実施を目標に高校側と協議してまいります。

次のページをお願いします。3月の参加者数が空欄の「とよとみスタディスペース」ですが、昨日までの参加者は15名でしたので、ご記入をお願いします。

次に、成人対象の事業としまして、「初めての陶芸」でございます。陶芸の窯がある公民館の利点を生かして開催したものです。3回目の2月8日は大雪が降りまして、来館自体が危ない状況でしたが、皆さんに電話したところ、自分で仕上げたいという思いから参加するというご意向が多く、結果、事故もなく終了できました。数名の参加者から当館の社会教育関係団体に加入したいというご意向を聞きまして、ご紹介しているところです。

次に、高齢者対象の事業です。3ページをお開きください。「豊富寿大学」の3月19日の参加者数は、おおむね40名程度が想定されるところです。

次に、複数対象の事業です。4ページの下段、「卓球開放」の3月14日の参加者数は12名、男7名、女5名でしたので、ご記入ください。

次のページをお願いします。「とよとみジョイフルコンサート」は今週末の開催となります。現時点で129名、男17名、女112名と多数の申込みをいただいております。

最後になりますが、「北部地区8公民館合同事業～Canva入門～」です。公民館事業や団体活動の広報、チラシ等に使うことができるCanvaというソフトの使用方法を学びました。公民館の利用者の拡大には、公民館で何をしているのかを公民館を知らない人に知ってもらうことが大前提となりますので、公民館職員のみならず、社会教育関係団体や生涯学習コーディネーターにCanvaを学んでもらったことが、今後の公民館活動等のアピールにつながれば

と思っております。

北部公民館からは以上になります。

○金子副委員長

では、二和公民館、お願いいたします。

○二和公民館長

二和公民館の3月31日までの主な事業について報告いたします。

初めに、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」を記載のとおり開催しました。3月7日開催分の参加者数のご記入をお願いいたします。男19名、女22名、計41名となりました。これで今年度のハッピーサタデーの総参加者数は335人となり、全12回が全て終了いたしました。

次に、恒例となりました「書初め教室」は、講師をお願いしております船橋二和高校との地域学校協働活動につながっております。

次のページに移りまして、成人対象の「デジタルデバインド対策事業」と「防災講座」を記載のとおり開催しました。

次に、地区連との共催事業となります「二和のまちづくり推進事業」は、船橋市消費生活センターの消費生活相談員を講師に迎え、消費者トラブルと家庭における製品事故についての消費者講座を行いました。

次の「そば打ち体験」は3月29日の開催となりますので、参加者数は、事業終了後、事務局のほうへ報告いたします。

次のページに移りまして、高齢者対象事業です。「二和寿大学」を記載のとおり開催しました。なお、最後の閉校式と落語が3月19日の開催となりますので、参加者数は、事業終了後、事務局へ報告いたします。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 月曜コース」です。3月9日開催分の参加者数ですが、男18名、女60名、計78名となりましたので、ご記入をお願いいたします。

次のページに移りまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室 火曜コース」です。こちらを記載のとおり開催しました。こちらの最終回は3月24日となりますので、参加者数は、事業終了後、事務局へ報告いたします。

次の「二和地区社会福祉活動支援事業」のミニデいの最終回は、フルーツの鑑賞会を行いました。今年度の総参加者数は295人となりました。

次に、「介護予防教室」です。今年度は、理学療法士による講義と、ストレッチや筋トレなどの運動や脳トレを行い、参加者は皆熱心に取り組むなど、好評を博しました。

次のページに移りまして、複数対象です。「巡回児童ホーム事業」の「0・1・2歳ぽかぽか広場」と「小学生わくわくタイム」を記載のとおり開催しました。なお、ぽかぽか広場の3月11日分の参加者数は、男5名、女9名、合計14名となりましたので、ご記入をお願いいたします。

次の「子育て支援事業 にこにこ広場」の最終回は3月27日となりますので、参加者数は、事業終了後、事務局のほうに報告いたします。

次のページに移りまして、「二和劇場」を記載のとおり開催しました。

最後は、「第17回北部市民ウォーク」です。今年度は、三咲駅をスタートし、御瀧不動尊や星影神社などを回るコースを組み、北部の自然と歴史に触れながらゴールの二和公民館を目指しました。参加者24名が約2時間を完歩しました。

二和公民館からは以上です。

○金子副委員長

それでは、海老が作公民館、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業でございますが、「ふなばしハッピーサタデー事業」の人数の記載をお願いいたします。2月22日、「こどもまつり」は、全体で1,370名の参加でございました。また、3月7日分は、全体で10名、男2名、女8名でございます。

こどもまつりについては、3連休の中日の開催ということで来館者数を少し心配しましたが、天候にも恵まれて、おおむね昨年程度の参加をいただいております。また、発表団体も、大穴の空手演武、大穴小学校、大穴北小、ダンスと4団体になりまして、地域の子供たちの発表の場になったものと考えております。また、模擬店については、北部地区の子ども会連絡協議会と地域のおやじの会のご協力を得まして行っております。子供たちが楽しく食べている姿、歓談する姿が見られました。

次に、成人事業でございます。「デジタルデバインド対策事業」の人数の記載をお願いいたします。全体で10名、男5名、女5名でございました。

「異文化体験講座」でございますが、今回はペルーを取り上げまして、ペルーの郷土料理、紫トウモロコシ等を使ったスイーツを食べながら、現代のペルーやペルーの歴史等についてお話を聞くという企画でございました。

ページ変わりました、報告の2ページでございます。高齢者事業でございますが、人数の記載をお願いいたします。

まず、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の3月6日分でございますが、全体で38名、男5名、女33名でございました。

続きまして、「海老が作寿大学」の3月12日分の人数でございますが、全体で40名、男1名、女39名でございました。

続きまして、「いきいきサロン『花梨』」の3月2日分の人数でございます。全体で15名、男7名、女8名の参加をいただいております。

ページ変わりました、報告の3ページ、複数対象事業でございます。こちらも人数の記載をお願いいたします。

まず、「ファミリー卓球」の3月15日分でございます。こちらは、全体で32名、男14名、女18名の参加をいただきました。

次に、一番下の「子育てプレイルーム」でございます。こちらは、全体で12名、男2名、女10名でございます。

次に、ページ変わりました、報告の4ページでございます。一番下の「海老が作公民館本館家庭教育セミナー」でございます。2月28日分は、全体で5名、男1名、女4名でございます。3月7日分は、全体で10名、男2名、女8名の参加でございます。また、次の3月14日分は、全体で2名、男0名、女2名の参加をいただきました。

家庭教育セミナーは、例年、大穴小学校PTAとの共催という形で開催しておりましたが、今年度については、調整を試みたのですが、大穴小学校PTAとの調整がつかなかったため、年をまたいでの計画の策定となってしまいました。そのため、前回の事業計画のほうには載せておりませんでした。申し訳ございません。計画が動き出したのが年明けからでございます。それから企画、人選等々がございまして、今回やっと開催にこぎつけたところでございます。

以上、海老が作公民館の事業報告でございます。

○金子副委員長

では、小室公民館、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の主な事業についてご報告いたします。

まず、青少年対象としまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」をご覧の日程で開催しました。

1月の「スポーツで遊ぼう」では、講師として船橋市ユニバーサルスポーツ協会にお越しいただき、スポーツ吹き矢や卓球バレーなどのパラスポーツを実施しました。非常に盛り上がりを見せ、最後は表彰式をし、景品を手にして子供たちは非常に喜んでいました。

2月は、「小室こどもまつり」を小室中学校のボランティアの生徒や地域団体のご協力を得ながら開催しました。今年のテーマは「海賊船と宝島」とし、会場全体の装飾や出し物を企画しました。半年以上前から準備を始め、ボウリング、射的などのゲームのほか、メッセージ額縁アートやお面などの工作、大道芸パフォーマンスを実施し、子供たちは大いに盛り上がりました。ただ、残念ながら、インフルエンザの流行から小学校が学級閉鎖になるなど、参加人数が少なくなってしまったことから、来年度は実施時期を12月に変更する予定です。

最終回の3月14日の「巣立ちの会」につきましては、参加者数400名となりましたので、ご記入をお願いします。小室地区青少年健全育成連絡協議会のご尽力により開催し、小学校の校庭で餅つきをし、スープを配り、ゲームをし、小中学校を卒業する子供たちの門出を地域の皆様とともに祝い、大変盛況でした。

次に、成人対象としまして、「デジタルデバインド対策事業（はじめてのスマホ体験）」を実施

しました。毎年実施しておりますが、公民館にスマートフォンの操作について聞きに来られる方がまだまだ多いことから、来年度も開催する予定です。

次のページ、「こむろ井戸端会議」につきましては、3月13日の参加者数が7名、男性2名、女性5名となりましたので、ご記入をお願いします。

高齢者対象に行きまして、3ページ、「生き生きと若々しく過ごすための教室」をご覧の日程で開催しました。カラオケの音楽や映像に合わせて体を動かし、「楽しかった」と笑顔で帰られる姿が印象的で、来年度も実施してほしいという声も多いため、来年度も実施予定です。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の最終回、3月13日の参加者数は31名で、男性3名、女性28名となりましたので、ご記入をお願いします。

続きまして、報告4ページ、「小室地域ふれあいコンサート」についてです。申込み開始日の午後には受付終了となるほど人気がありました。受付や誘導を実行委員の方にご協力いただいたおかげで、スムーズに開催できました。小室町にお住まいの藤井先生によるピアノの演奏で、文字どおり地域ふれあいコンサートとなりました。ピアノ、ヴァイオリン、ソプラノと地域の皆さんに大変喜んでいただけ、「身近な公民館ですばらしい演奏を聴けて感動した」という声も頂戴するなど、満足度の高いものでした。来年度もまた地域に喜ばれるような内容で開催したいと思います。

その下、小室児童ホームと共催で「クリスマス会バルーンショー」、「親子でリトミック」を開催しました。児童ホームと共催することで乳幼児親子に公民館を知ってもらい、親近感を持ってもらえる有意義な機会でした。

5ページ、「小室おもちゃの病院」の3月15日は、直ったおもちゃを取りに来られた方はいましたが、利用者数、依頼件数とも0件でしたので、ご記入をお願いします。大切なおもちゃが直って子供が喜ぶ姿は、いつも印象的でした。物を大切にすることを育むためにも、引き続き利用者を増やすため周知に力を入れ、継続していきたいと考えております。

小室公民館の報告については以上でございます。

○金子副委員長

それでは、八木が谷公民館、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館でございます。資料の差し替えでお手数をおかけして申し訳ございませんでした。3月31日までの事業について報告いたします。

青少年対象の「空き部屋開放事業」でございますが、学習する場所として図書コーナーがありますことから、こちらで定員が間に合うため、現在はまだ参加者数は0名となっております。利用する子供がなく残念ですが、学習する子供が増えるよう、今後も周知を図っていききたいと思っております。

続きまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。3月7日の人数の記載をお願いいたします。男12名、女6名、合計18名でございます。

12月の「クリスマスパーティー」では、万華鏡づくりとモルックを行い、相談員の多数の講師のご協力により、滞りなく開催することができました。万華鏡づくりでは、子供たちはいろいろ考えながら、また楽しみながら制作していらっやいました。

また、1月の「DVD鑑賞&缶バッジづくり」は、体調不良で欠席も多かったですが、終始和やかな雰囲気の中で講座をすることができました。少人数でしたが、缶バッジづくりでは、自分で描いた絵が缶バッジになるためか、みんな真剣に取り組んでいました。

2月の「カルタで遊ぼう」では、船橋を題材にしたカルタを使いました。最初は船橋のカルタの題材について詳しく説明を聞きながらカルタを行い、2回目は子供たちが本気になってのカルタの大会となりました。なお、2月の計画につきましては、当初は異なる講座でしたが、講師側の都合により急遽変更したものでございます。

3月につきましては、「忍者道場」を行いました。子供たちは講師が用意した鉢巻きを着け、忍者になりきって参加していました。「楽しかった」という声が多くございました。

「ふなばしハッピーサタデー事業」は、地域の団体などの協力を得て、様々な内容で実施することができました。今後も地域の団体と協働し、地域と協力し合いながら、子供たちがより豊かな体験ができるよう運営していきたいと考えております。

報告3ページ、一番上の「リラックスヨガ」でございます。夜間事業として開催いたしました。こちらの人数の記載をお願いいたします。男1名、女10名、合計11名でございます。夜間事業でございましたので、仕事終わりの方など、初めて公民館を利用したという方もいらっやいました。講座でも、「リラックスできた」、「また参加したい」との声がとても多く、満足度の高い講座でございました。

続きまして、高齢者対象の「八木が谷寿大学」でございます。12月には立川談修師匠による落語を行いました。生で落語を聴くことができ、参加者は大変楽しそうにしておりました。また、1月には「みんなで歌おう」として、ピアノ伴奏により童謡・唱歌を行いました。講師の話もあったためか、みんな元気よく歌っていました。2月は、当初からの内容を変更して、中国伝統文化の「変面」を実演していただきました。一瞬で顔の面が変わると、参加者は驚きとともに賞賛していました。寿大学は来年度も内容を検討しながら行っていきたいと考えております。

続きまして、3ページ、一番下の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、健康づくり課と共催の事業のほうでございます。3月11日の人数の記載をお願いいたします。男12名、女44名、合計56名でございます。

続きまして、ページ変わりました報告4ページ、「健康セミナー」でございます。2月には「福祉用具を活用した身体状態の維持・管理」ということで、高齢者が手で押して歩く歩行車や、立ち上がるために床に設置する手すりなどを実際に利用し、日常生活が行えるよう体験を行いました。また、3月には、椅子に座り音楽を聴きながら体操を行い、参加者は皆さん楽しんで行っておりました。

次に、報告6ページ、複数対象の「地域ふれあいコンサート」でございます。今年度は「馬頭琴の調べ」としまして、モンゴル伝統の弦楽器で、琴のさおの先端が馬の頭の形に彫られていることが特徴となります。参加者は初めて聴いたという方が多く、「すばらしかった」という声をいただきました。

続きまして、「子育てサロン」でございます。こちらは人数の記載をお願いします。3月16日、男5名、女16名、合計21名でございます。

八木が谷公民館からは以上でございます。

○金子副委員長

それでは、三咲公民館、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。よろしくお願ひいたします。三咲公民館の12月16日から3月31日までの事業報告をさせていただきます。

青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、記載のとおり実施いたしました。2月8日に行いました「こどもまつり」は、衆議院選挙と重なってしまい、公民館1階は投票所として使用するため、模擬店等を中止し、規模を縮小して行いました。また、当日は雪が降る天候でしたが、子供たちは各コーナーを何度も行き来して楽しんでいました。3月14日に行いました「ヒップホップダンス教室」も、子供たちは熱心にダンスを踊って体を動かし楽しんでいました。参加者数のご記入をお願いします。全体で8名、男2名、女性6名でした。

次に、「三咲公民館学習室」です。今まで図書コーナーでの学習利用で足りていましたが、2月に図書コーナーの利用が多く学習スペースが不足したことと、衆議院選挙の投票所として使用するため図書コーナーが使用できなかったことにより、空き部屋の利用がありました。昨日までの利用人数ですが、全体で5名、男性4名、女性1名です。

次のページをお願いします。成人対象事業の「おうち時間を楽しむ♡お料理とお菓子教室」は2週続けて行いました。ひな祭りに向けて、家庭でつくってもらえる料理とお菓子をつくりました。

次の「サークル応援講座 女声コーラス入門」につきましては、三咲公民館で活動しているサークルと共催で、歌の合唱などの体験を2週にわたり行いました。参加者数のご記入をお願いします、1回目の3月6日の参加者数ですが、全体で9名、男性0名、女性9名。2回目の3月13日は、全体で8名、男性0名、女性8名でした。今回の体験により、サークルに入会されることを期待したいと思います。

次に、高齢者対象事業です。「三咲寿大学」は、1月28日に「新春落語」、2月25日に「歌のコンサート・閉講式」を行いました。両講座とも公開講座として寿大学の方以外にも参加していただき、多くの方の参加がありました。1月の新春落語は満員でした。

次のページの「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおり実施いたしました。

第2金曜コースの3月13日の参加者数のご記入をお願いいたします。全体で42名、男性9名、女性33名です。

次のページをお願いいたします。複数対象事業の「おもちゃの病院」ですが、3月14日の利用者、依頼件数のご記入をお願いいたします。利用者は全体で1名、男性1名、女性0名、依頼件数は1件でした。

「助産師さんのベビーマッサージ」、「英語であそぼう」は、三咲児童ホームと共催で行いました。

次のページ、「国際交流講座」です。顔のお面が変化する中国の伝統芸能である「変面」の演技をしていただき、多くの参加がありました。親子による息の合った演技が見られ、異文化に触れることもでき、大変盛り上がりました。

次の「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」も記載の日程で実施し、今日以降も記載した日程で実施いたします。

三咲公民館からの報告は以上となります。

○金子副委員長

では、続きまして、松が丘公民館、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。松が丘公民館の12月16日から3月31日までの事業の主な実施状況と評価についてご報告いたします。

まず初めに、報告1ページ、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」では、「書き初め教室」や「こどもまつり」などを実施し、地域団体の協力の下、子供たちに多彩な体験機会を提供することができました。12月の「書き初め教室」では、船橋古和釜高校書道部の生徒と顧問の先生による丁寧な指導が行われ、成果品は約1か月館内展示を行い、保護者の方々はもちろん、多くの来館者にご覧いただくことができました。また、2月の「こどもまつり」では、公民館改修工事が前日に完了したことで、例年の規模で、駐車場を全面使用とし、無事開催することができました。社会教育関係団体や町会、地区社会福祉協議会、消防団など、多くの団体にご協力いただき、2,000人を超える来場があり、地域全体で子供を支える取組として大変盛況でした。

続いて、下段から2ページにかけて掲載の「クラブ活動支援事業」は、記載のとおり実施いたしました。

続きまして、報告2ページ、成人事業、下段の「松が丘公民館 本館家庭教育セミナー」では、料理づくりを通して親子が協力する機会を設けました。参加者はそれぞれ役割を分担しながら料理に取り組み、家庭内のコミュニケーションを深める有意義な学習機会となりました。

報告3ページに移ります。下段の「大人のための絵本講座～読み聞かせで広がる心の世界～」です。3月5日の参加者数の記載をお願いいたします。女性のみで15名でした。本講座

では、絵本の選び方や読み聞かせの方法を学び、実際に絵本を持参していただき、読み聞かせを体験しました。講師の穏やかな語り口や人柄もあり、会場は終始温かい雰囲気に入れ、受講者は絵本の読み方を学びながら、読む楽しさや絵本の魅力を改めて感じている様子でした。終了時には、個人や団体での読み聞かせ活動に関する具体的な質問も寄せられ、受講者が今後の活動のイメージができる機会ともなりました。地域での読書活動の推進につながる取組として、来年度以降も継続してまいりたいと考えております。

続いて、報告4ページです。「多文化共生講座：ベトナム★文化紹介講座」は、ベトナム文化をテーマに開催し、クイズやミニベトナム語講座などを通して楽しく学びました。講師の方の熱意ある丁寧な説明も大変すばらしく、受講者の外国文化への関心の高さもうかがえ、多文化理解を深める機会となりました。

その下段になります「松が丘粋生き講座～素敵に生きよう今日から明日へ～」では、歴史講座と音楽鑑賞を組み合わせた学習機会を提供いたしました。第3回は地域オープン講座として11弦ギターコンサートを開催し、会場は満員となりました。短期大学教授で幼稚園園長でもある出演者の11弦ギターの奥深い音色や、ゼミの学生にもご出演いただき、手話合唱など、多彩なプログラムが披露され、来場者から「感動した」という感謝のおはがきが寄せられるなど、大変好評を得ることができました。

その他成人事業は記載のとおりでございます。

次に、報告5ページ、高齢者事業です。上段、「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」の3月12日の参加者数の記載をお願いいたします。全体で23名、内訳は、男性3名、女性20名です。

続いて、その下、「松が丘寿大学」です。こちらは、高齢者が月に一度、地域の中で楽しむに通える講座となるよう、実行委員の方々と連携して運営しました。講座内容も、講義、体験、音楽鑑賞など多様な内容を取り入れ、登録者143名中、2月までで45名が皆勤と、多くの方が継続して参加されており、学びと交流の場として一定の成果が得られています。

次の報告6ページ、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。3月4日の参加人数のご記入をお願いいたします。全体で62名、男性11名、女性51名です。

続きまして、報告7ページ、上段の「松が丘シルバーリハビリ体操教室」です。こちらは、松が丘地区シルバーリハビリ体操指導士会との共催により、今年度から定期開催が実現しました。全市と松が丘地区独自のリハビリ体操を公民館で開催することで、月2回の継続的な運動機会の提供により、健康意識の向上や介護予防につながっていると考えます。参加人数は徐々に増加しており、他会場にはあまり見られないそうですが、松が丘では男性の参加者も一定数いらっしゃるということで、男女問わず参加しやすい教室として定着してきております。

その他高齢者事業は記載のとおりでございます。

次に、複数対象事業です。その下、「卓球バレー教室」の3月13日の参加人数を申し上げ

ます。全体で6名、男性1名、女性5名です。本事業は松が丘地区スポーツ推進委員会との共催で、今年度より試行的に導入した事業です。世代を問わず楽しめるユニバーサルスポーツとして参加者から好評を得ており、2月の寿大学で76名が体験したところ、またやりたいとの要望を受け、急遽3月の追加開催を決定しましたが、周知期間が短かったせいか、参加人数の伸びはありませんでした。今後は地域での普及をさらに進め、来年度の事業化を検討していきたいと思っております。

続いて、報告8ページの下段、「おはなし会」の参加人数のご記入をお願いいたします。3月12日の参加者数は、全体で8名、男性2名、女性6名です。開館当初から講師として社教団体に尽力いただいている事業ですが、平日日中に活動できる乳幼児親子が年々減少し、集客が見込めず、参加者数の伸び悩みが最近見られていました。団体の後継者不足、その他事情が重なったこともあり、今後については実施形態などを再検討しております。

次に、報告9ページ、「子育て支援事業 おひさま」の3月10日の参加者数のご記入をお願いいたします。全体で12名、男性3名、女性9名です。

続いて、中段の「松が丘シネマサロン」の3月12日の参加人数のご記入をお願いします。全体で76名、男性17名、女性59名です。

そして、下段の「松が丘ハートフルコンサート」です。こちらは、地域の方に良質な音楽に親しむ機会の提供として開催しています。実行委員の方々との打合せから、今年度はピアノと歌にふだんあまり耳にすることのない連弾を加えたコンサートを実施しました。2人の奏者による演奏は観客の反応もとてもよく、来年度については「ふなばし音楽フェスティバル 地域ふれあいコンサート」として実施形態の変更を検討しております。

報告10ページ、上段の「古和釜アートミュージアム」についてです。まず、本事業が前回お配りした計画の資料の記載から漏れておりましたことをお詫び申し上げます。本事業は、学校を通じた案内や館報でのお知らせを行ったほか、他事業開催時のPRをきっかけに立ち寄られてみる方、口コミで来館される方も多く見受けられました。近隣の高校部活動や中学校の美術授業の作品展示を通して、地域の皆様がアートに触れる機会を提供するとともに、生徒にとっては成果発表の場になりました。公民館を会場に作品を媒体とした地域と子供たちの交流が生まれ、来館者が家族や知人の作品を目的に訪れるなど、展示の有効活用が図られました。また、本展示をきっかけに、絵画サークルから写真の絵をぜひ描きたいという申出もあり、分野を超えた広がりが見えたことをとてもうれしく思っております。

続いて、中段になります。今年度から通年で開始しました「学習スペース提供事業」です。こちらでは、図書室やロビーを活用して子供たちの学習環境を整備しました。想定以上に幅広い年代の活用が見られ、学習環境へのニーズの高さがうかがえました。

下段の「空き部屋開放事業」については、こちらから今年度から始めた事業になります。今年度は、図書室、ロビーで対応できていたため、集会室を使用する場面はほとんどありませんでしたが、今後も利用状況に応じて柔軟に対応してまいります。

最後に、「卓球開放」では、仕事帰りの方、学生、親子など、幅広い世代が利用しており、地域に開かれたスポーツの交流の場として定着しています。今後も施設を有効活用しながら継続してまいりたいと考えております。

松が丘公民館からは以上です。

○金子副委員長

では、坪井公民館、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の事業報告をご説明させていただきます。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。3月7日の「こどもまつり」をもちまして、全日程を終了いたしました。1年を通じまして、坪井地区社会福祉協議会、坪井地区スポーツ推進委員会、伝えよう船橋の会などの地域団体にご協力をいただき、子供たちに寄り添う内容で実施できたと感じております。3月7日の参加者数のご記入をお願い申し上げます。男女別の集計が取れませんでした。申し訳ございません。合計で1,006名となっております。

続きまして、「科学って楽しいな」でございます。ワークショップで、音の伝わり方について親子で楽しみながら学習し、学びとともに親睦を深めることができたと考えております。

続きまして、次のページ、成人事業の「日本刀講座（入門編）」でございます。刀剣ブームであることから、若年層の女性の参加を期待いたしましたが、男性が大半を占める結果でございました。しかしながら、公民館を利用したことがない方も多く、利用者層を広げることができたと感じております。講座では、鑑賞方法の説明を受けた後、実物を持って鑑賞に臨み、皆様熱心に鑑賞しておりました。

続きまして、「我が子のためのおもちゃ講座」でございます。子供たちの知育に適したおもちゃの選び方を学習して、子育て支援の一助とするとともに、子供との触れ合いを深めてもらうことを目的として実施いたしました。子供のおもちゃについて新たな発見があったものと考えております。

続きまして、「坪井の歴史講座」でございます。毎回参加を心待ちにしている方がいらっしゃる人気講座でございまして、1回目は25日に座学を行う予定でございます。2回目は27日に地域の散策を実施する予定でございます。

次に、10ページでございます。高齢者事業、「坪井みのり学級」でございます。3月13日の参加者人数のご記入をお願い申し上げます。男10名、女46名、計56名でございました。ピアニストの加賀厚子さんをお招きしてのコンサートを実施いたしました。3月で最終回でございまして、全10回の日程を終了いたしました。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」はご覧のとおりでございます。

次のページ、複数対象事業の「ファミリーわくわく体験教室」でございます。1回目は親子で古代の火起こし体験を、2回目はイラストレーターのお仕事について学ぶ「マイキャラク

ターとコースター作り」を実施いたしました。

続きまして、「ウインターコンサート」でございます。ピアニストの浅見陽子さんとフルート奏者の金野紗綾香さんに出演していただきましてコンサートを実施いたしました。優しいフルートの音色とピアノの流れるような旋律が心地よく、すてきなコンサートだったと感じております。

次の「子育て支援事業『ハープコンサート』」、「子育て支援事業『絵本 LIVE』」、「おはなしいろえんぴつ」、「おもちゃの病院」につきましては、ご覧のとおりでございます。

坪井公民館の事業報告は以上でございます。

○金子副委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（１）につきまして、ご意見、ご質問等ある方はいらっしゃいますか。

○前田委員

質問になりますけれども、二和公民館の報告１ページ目でございます「ふなばしハッピーサタデー事業」の中の２月２８日のところですが、レクスポゲームの中にラダーゲッターというゲームがあります。これは比較的新しいスポーツといいですか、ゲームだと思えますけれども、これの難易度とか、お子さん方の反応、反響、今後このラダーゲッターについては広がっていくのかどうかという印象を分かる範囲でお聞かせ願えればと思います。

○二和公民館長

二和公民館です。二和公民館のハッピーサタデー事業の中で、今回の講師の船橋市スポーツと健康を推進する会にお願いして、必ず年に１回レクスポゲームをやっています。その中で、ラダーゲッターはスポーツと健康を推進する会の推しの競技となっております。毎年これはやっております。来る子供も小学校１年から６年生なので、去年４年生だった子が５年に学年が上がって、そういう子供たちが「今年は負けないぞ」みたいな形で毎年参加してもらっています。機材が特別なので、こういう機会でないといけないので、結構みんな夢中になって、ロコミでみんなお友達を連れてきて参加していただいております。

○前田委員

ありがとうございます。できる環境があればどんどん人気が出そうな感じということですね。

○二和公民館長

そうですね。小学生でも簡単にできる競技で危なくもないので、公民館の講堂等であれば、どこの公民館でもできると思います。

○前田委員

ありがとうございます。

○金子副委員長

どういう競技かあまりイメージが湧かないですけれども、こういうものだと説明できる人

はいますか。

○前田委員

はしごみたいなものがある、ひもの両側におもしがついていて、はしごの足をかけるところみたいなところを目がけて投げて、くるくるっと回す。

○二和公民館長

忍者が投げて人の足に巻きつけるような、ボールとボールの間にひもがあって、投げるとこんな形になって、引っかかればぐるんとなって、はしごの引っかかった場所によって点数が。

○金子副委員長

何か面白そうだね。そうですか。

では、ほかにはありますか。よろしいですか。

○前田委員

もう1個いいですか。

○金子副委員長

はい、どうぞ。

○前田委員

小室公民館の報告1の「小室子どもまつり」の件で、これは先ほどのご報告にもありましたけれども、テーマは「海賊船と宝島」ということで、かなり前から準備されて、このテーマに沿った雰囲気をつくられているように思いました。そういう環境の中で、お子さんは非常にわくわくしながら楽しんだのではないかと、そういう印象を持ったという感想を言わせていただきました。ただ、先ほどおっしゃったように、ちょうどインフルエンザの真っ最中で、学級閉鎖とかにぶつかって残念なところはありませんけれども、とても楽しそうな感じをお見受けいたしました。

○小室公民館長

いつもかなり担当が力を入れて、子供も楽しんでいますが、私たち職員もすごく楽しみにしてやっています。また、地域の方にもかなりお手伝いいただいてやっている事業になります。ありがとうございます。

○金子副委員長

ほかによろしいですか。

では、館長、お願いします。

○北部公民館長

事業報告の内容で、1点ご意見を頂戴したい事項がございまして、これまで事業報告書に記載しておりました男女別の参加者数についてでございます。こちらをなくす方向でいかがかということ。今、ジェンダーフリーの社会情勢でもございますし、県に提出している報告書の中でも、以前は男女別の人数というのがありましたが、現在は省かれております。か

つ、市のほかの審議会、南部、東部、西部、いずれも近年抜いてきている傾向にございます。ただ、先ほどの坪井の刀剣事業みたいに男性の参加を狙っていますとか、公民館を利用されていない方を発掘する趣旨としてやりますという事業に関しては、男女別のご報告をしながら事業の報告をしてまいれたらと思っています。資料の記載からは抜いてしまおうかと思っておりますが、いかがでしょうか。

○金子副委員長

今、北部館長から提案があったとおり、基本的には男女別の数を記入しないと。ただ、必要性がある、あるいは、目的、目標といったところで必要がある場合は、そのところは会議の報告にて注釈なり強調なりしていただくという提案がありましたが、皆さんのご意見はどうでしょうか。

○前田委員

いいと思います。前から私も思っていたのですけれども、何で分けて書くのか。まだ書かれていないところを追記するじゃないですか。3か所書くより1か所書けばいい。それはありますけどね。だからそれでいいと思いますけれども、その反面、大体皆さんもお感じだと思いますけれども、全体で見ると、男性の数字は女性の数字と比べて本当にこんなに違いますよね。それも今後こうなるかという、そうでもないかなと思いますので、いいと思いますけれども。ただ、ちょっと気になるのは、やっぱり男性ももうちょっと参加してほしいなというのはあります。報告の数字としては、一本化されてもよろしいかなと私個人的には思います。

○金子副委員長

ほかにどうでしょうか。

北部館長の提案は、承認ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○北部公民館長

ありがとうございます。それでは、次回の公運審の資料から、男女別の数字は抜かせていただく形をお願いします。よろしく願いいたします。

○金子副委員長

それでは、ほかにご意見、ご質問がないようであれば、議事(1)「事業報告(12月16日～3月31日)」につきまして、承認をいたしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○金子副委員長

ありがとうございます。では、承認をいたします。

議事(1)は終了しました。

では、議事(2)に入ってよろしいですかね。次に、議事(2)「令和8年度各公民館の地域の状況・地域の課題・重点目標(案)」、「令和8年度各公民館の事業計画(案)」について、併せて各公民館長からご説明をお願いいたします。なお、ご意見、ご質問等がありましたら、

8 公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、北部公民館からお願いいたします。

○北部公民館長

資料のほうは、今ご説明いたしました事業報告の次のページ、「様式4」と書いてございます「令和8年度北部公民館事業計画」、その後のA4横の「事業計画(案)」となっております各事業の一覧です。こちらを続けてご説明いたします。なお、館によって「(案)」がついていたりついていなかったり、統一されていないことをおわび申し上げます。

それでは、ご説明いたします。

北部公民館について、まず、「1. 地域の状況」ですが、対象とする地域は古和釜町から神保町までの広範囲にわたり、市域の北東部に位置し、旧豊富村内で、果樹栽培や畑作など農業が中心産業となっております。豊かな自然が残る船橋でも貴重な地域です。人口は、令和7年4月1日現在で2,915世帯、5,517名です。少子高齢化により高齢者人口が37%以上で、市の中でも高齢化率が高い地域です。また、子供の数も少なく、小中学校は各1校で、生徒数が減少傾向にあります。

次に、「2. 地域の課題」です。小学校が7学級123名、中学校が4学級71名で、いずれも各学年1クラスと特別支援学級で構成されています。また、65歳以上の割合が37%と高く、市内は約25%でございますので、大分高い比率になってございます。また、生涯学習に関するアンケートの結果、居住地域の心配なこととして、高齢者の孤立、地域活動における後継者不足というご意見が多い状況となっております。

これらの地域の状況や課題を受けまして、次の「3. 重点目標」です。こちらに関しては、全文読ませていただきます。

(1)「今後も地域の団体・近隣の学校などと連携・協力し、地域の資産を活かした特色ある公民館事業や地域の行事を共催で実施することで、地域住民の交流と学社連携を目指していく」。

(2)「行政機関や地区社会福祉協議会などと連携・協力をし、(中略)高齢者の社会参加と健康の維持・増進を図る」。

(3)「地域の方々が楽しんで参加してもらえるような魅力ある事業や地域の特色を活かした事業を企画し、広報紙や公民館報を通し、学習機会や情報の提供をし、人と人が交流することで地域の活性化を図るとともに、サークルに発展するよう努める」。

(4)「北部地区公民館の基幹館として地区館との連携を図り、広域事業の実施や施設管理などの支援に努める」。

以上が地域の課題を受けての重点目標となります。こちらはどれもが大事な事項となっておりますが、特に学社連携、学校と社会教育の連携を言いますが、ここに力点を置き、子供たちに公民館での発表の場を設定するなど、少ない子供たちが生き生きと地域活動、世代間交流等の様々な経験を得られるような拠点を目指しつつ、学校教育の補完的な役割も担えれば

と思っております。

以上です。

次に、これを受けまして、「事業計画」、A4 横のほうをご覧ください。こちらがそれぞれの事業の計画になります。各館全ての事業をご説明しますと時間が足りませんので、数点ずつ、新規事業を含め特色あるものについて取り上げてご説明させていただきます。

まず、青少年対象の事業としまして、5 番目の「子どもまつり」です。先ほどの事業報告において、豊富高校をはじめとする新たな取組が好評であったとご説明しましたが、来年度はさらに変えまして、昨年豊富小・中学校 PTA が主催した夏まつりと私どもの子どもまつりを同時開催し、コラボレーションすることを予定してございます。学校、公民館を会場として同時に開催することで、地域の子供たちの学びや遊びの場を拡充し、これまで以上に楽しめるイベントにしていきたいと思います。

次に、成人対象事業として、8 番目の「はじめての陶芸体験」です。今年度の同様の事業は大変好評で、社会教育関係団体への加入意向を示す参加者も出たということをご説明しました。社会教育関係団体もやはり高齢化し会員も減少してきておまして、その傾向がなかなか解消できるわけではございませんので、陶芸窯を持つ公民館の使命として、陶芸のさらなる普及や団体の活性化を図って実施してまいります。

次に、高齢者対象の事業です。「料理サロン」や「豊富寿大学」など、引き続き様々なジャンルの講座を開催し、地域の高齢者の健康維持・増進、生きがづくり・仲間づくりに貢献してまいります。

次に、その他対象の事業として、前のページに戻っていただきまして、12 番目の「北部地区合同事業『星空を見る』」です。内容の記載がございませんけれども、最近講師等の詰めができて、内容としましては、総合教育センターと共催で、空気が澄んで夜間に星空がよく見える地の利を生かして、星がよく見える冬場に、まず当日に見える星座や月とか土星、惑星関係の勉強をした後、隣の豊富小学校の校庭に出て、天体望遠鏡で実際の星空を親子等で観察していただくという事業でございます。豊富地区を中心に、周辺の小学校対象に募集を考えております。

次に、例年実施していた「デジタルデバインド対策教室」は、毎回の参加者数が少なかったことから、優先順位を落として見送るものとしておりますけれども、他の事業等の際に参加者の意向を確認し、需要があれば実施することを検討したいと考えております。

また、ただいまご説明した内容のほか、予算の範囲内において、新たな取組として、こちら農村地域ということで、人的・物的資源を生かした講座も検討していきたいと考えております。

ここで、先ほど事業計画にて少々触れました、学社連携の好事例をご紹介します。委員の皆様もお気づきかもしれませんが、公民館の入り口を入ったところ、右手に飾ってある絵画についてです。今年度の文化祭の展示の部で豊富中学校に出展していただ

いた絵になりますが、内容は豊富地区の名産・名所を紹介したマップとなっております。こちらは、画材・塗料メーカーのターナー色彩株式会社主催、文科省後援で、共同作品が対象となる「みんなの絵画コンクール 2025」で入選しました。経緯としましては、小・中・高ともに生徒数が少なく、部活動がままならない中で、地域の学校同士の連携・協働を校長間でも進めていこうとされている中、豊富中学校美術部で高校の顧問が監修して描いた絵となります。その取組と絵の内容の両方のすばらしさから、文化祭終了後も公民館に飾り、地域の皆さんに見ていただきたいと思っていたところ、入江校長からそのようなお話をいただき、引き続き公民館に掲出しているものです。この絵が全国の小中学校から 629 点応募があった中から見事に入選されたということで、よろしければ入江校長から一言いただければと思います。

○入江委員

ありがとうございます。今のいきさつであったのですけれども、美術部が参加したいということで出展させていただきました。地域交流の中で言うと、今も出たのですが、高校と交流して一緒の共同作品ができればいいのではないかと豊富高校の校長と私が話をした中だったのですが、高校さんは部員がないということで、美術科の教員にこちらの学校に来ていただいて、監修というか、助言したりいろいろとアドバイスをいただいて、今そこに飾られている作品になりました。子供も地域のことを調べたり興味を持ったりということで、飾っていただいてすごく励みになっていますので、また今後も何かこういうものに参加できたらと思っています。よろしく願いいたします。

○北部公民館長

ありがとうございました。今後も、先ほど申しました子どもまつりや地域の中で、小・中・高・特別支援学校も含めて、公民館や PTA が連携して、社会活動など子供の活躍の場をつかってまいりたいと思っています。

北部からは以上です。

○金子副委員長

では、続いて、二和公民館、お願いします。

○二和公民館長

それでは、二和公民館の地域の状況、課題、重点目標をご覧ください。上から順にご説明してまいります。

「1. 地域の状況」です。二和公民館は京成電鉄松戸線二和向台駅前に位置し、駅周辺を中心におおむね住宅化されていますが、地区内には農地も点在しております。北図書館、二和出張所との複合施設となっており、管区内には、小学校が三咲小、二和小の2校、高等学校は船橋二和高校の1校があります。二和東と二和西の令和7年4月1日現在の世帯数は7,653世帯、人口は1万7,138人で、65歳以上の人口比率は25%であり、船橋市の平均である24%を上回っています。

次に、「2. 地域の課題」としましては、利用団体の高齢化や固定化の進行で、社会教育関

係団体が減少傾向にあります。これによって地域の人々の交流が疎遠になり、地域コミュニティの弱体化も関連することから、公民館が人と人をつなぐ役割として、既存団体の支援や新規団体の育成を図る必要性があります。また、高齢者に対し、引きこもりや孤立の防止対策、生きがいつくりや健康づくりに関する学習支援、そして、災害時の情報収集に係るデジタルデバインド対策として、インターネットやパソコンといった情報通信機器によるコミュニケーションを図る生活のサポートも必要であると考えます。さらに、災害時における地域コミュニティ活動の重要性が指摘される中、核家族世帯の増加をはじめ、働き方の変化やライフスタイルの多様化などにより、ご近所付き合いなど従来の地縁的なコミュニティの希薄化が懸念されます。

最後は、「3. 重点目標」です。先ほどお話ししました2番の地域の課題を踏まえて、(1)から(3)まで、そして、(4)につきましては、小ホールの機能を特徴とする講堂の活用について記載しております。こちらの目標については、全文読ませていただきたいと思います。

(1)「社会教育関係団体を講師に招いた事業や団体間の交流の場を設ける等、日ごろの活動成果を発表する機会を充実させる事業を実施する。また、様々なライフステージに応じた事業を展開することで、サークル化につながるよう支援に努める」。

(2)「高齢者の引きこもりや孤立防止につながる事業を実施し、併せてデジタルデバインド対策や健康づくりにも重点を置き、高齢期を健康で豊かに暮らすための場を提供する」。

(3)「幅広い世代が参加できる事業を実施するとともに、地域のコミュニティの場として利用を促進し、気兼ねなく立ち寄れる公民館を目指す。また、二和地区自治会連合会と連携し、災害時における各家庭での備えや自治会等の備蓄品について確認できる機会を提供し、自宅避難や自主避難時の留意点を学べる事業と併せて、多発する詐欺・詐欺的取引による地域住民の被害を未然に防止するため、様々な注意喚起や情報提供等となる講座を実施していく」。

(4)「音響・照明等の機能を有する講堂を、文化・芸術活動推進のため積極的に活用し、主催事業の充実を図るとともに、各種団体によるコンサートや発表会等の利用を支援する」。

以上が重点目標となります。

続きまして、次の横向きのページになりますが、令和8年度の二和公民館の事業計画になります。令和8年度の二和公民館の重点目標は、今説明したとおり、地域の課題に沿った3点と、二和公民館の特徴である講堂の小ホールの利用に関する目標の合計4点です。事業計画は、これらを踏まえて主だった事業を順にご説明いたします。

一番上の1番、「ふなばしハッピーサタデー事業」は全15回を予定していますが、その中でも、スポーツやレクの回は、毎回、船橋市スポーツと健康を推進する会や船橋市スポーツ推進委員協議会等の方々との連携・協働事業として行っています。

5番目の「夏休みの宿題応援事業」は、従来行っていた読書感想文講座にプラスして、自由研究やポスターの作成など、複数の宿題につながる内容の指導を新規事業として実施予定で

す。

12 番の「ゼンタングル講座」と 13 番の「大人の塗り絵講座」は、リカレント教育の推進に向けた事業となります。こちらは、新規サークル化の育成と併せて、地域のコミュニティの場として参加いただけたらと思います。

15 番から 20 番は、高齢化率が高い地域として、高齢者の引きこもりや孤立の防止、そして健康づくりにつなげるための事業として実施します。15 番の「二和寿大学」は、前年度に引き続き生涯学習コーディネーターさんのご協力により実施してまいります。19 番の「健康講座」は北部保健センターとの共催による事業で、6 年度より実施しております。この講座は、高齢者保健福祉計画に係る調査結果で二和地区においてはうつリスクが高くなっているとの結果が出ていることから、北部保健センターとの共催により、不安や緊張を取り除き、心身の安定を図るためにリラクゼーションの方法を学ぶ高齢者のうつ病予防をテーマとした事業になっています。

21 番の「防災講座」と 22 番の「二和のまちづくり推進事業」は、有事に各家庭でできる備えや、自治会等の備蓄品について確認する機会にしてもらえればと考えます。なお、この 22 番は、二和地区自治会連合会と連携し、市内で多発する詐欺・詐欺的取引による地域住民の被害を未然に防止するための講座も併せて実施します。

26 番は、「デジタルデバイド対策事業」として、ソフトバンクを講師とした初心者向けのスマホ講座を調整中です。

27 番の「ふたわ多文化教室」は、国際交流員を講師に招き、座学と料理体験の 2 部構成で計画した新規事業となります。

29 番から 31 番は、小ホールの機能を有する講堂を活用した主催事業の充実を図るため、29 番の「二和劇場」は、同ボランティア実行委員との協働で地域ふれあいコンサートを含め全 5 回の実施を、31 番につきましても、6 年度より「二和名画座」として年 6 回、社会教育課で保有する DVD 教材を活用した映画鑑賞会を実施します。また、小ホールの利用による各団体の発表会なども、円滑に開催できるよう主催者へアドバイスをしてまいります。

35 番は成人を対象とした「そば打ち体験」、36 番は毎年好評を得ている小学生親子を対象とした「そば打ち体験」です。こちらは、社会教育関係団体がコロナ禍以降減少傾向にある中、既存団体の支援につなげるため、昨年度に引き続き、社会教育関係団体の二和そばの会を講師に招いての事業となります。

説明は以上となります。よろしくお願いたします。

○金子副委員長

では、続いて、海老が作公民館、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の令和 8 年度事業計画についてご説明申し上げます。

まず、「1. 地域の状況」でございます。海老が作公民館がある大穴地区は、昭和 45 年頃か

ら宅地開発により急激に人口が増加してきた地域でございます。現在は大きく変化はしておりませんが、人口は若干増えているという状況でございます。地域の土地の利用状況については、農地と住宅地が混在しているという状況になっております。最近では、農地がミニ開発のような形で住宅地へと変更しているところが見られております。

公民館の管区は、大穴北、大穴町、大穴南の全区域でございます。令和7年4月1日現在の人口は6,474世帯、人口は1万3,727人を有しております。また、そのうち65歳以上の人口については5,067人となっております。比率は36.54%と市内でも高い値を示している地域でございます。ここ数年でございますが、先ほど言いましたとおり、農地から住宅地への転用が見られているところから、若年層の家族、若いお父さん、お母さんと小さいお子さんの流入が若干見られるということもございまして、若干ですが人口構成の変化が見られるようになっております。

また、管区には、大穴小学校、大穴北小学校、大穴中学校がございます。大穴北小学校は三咲公民館と共有の学区でございます。また、大穴小学校については、1学年が2クラス程度ということもあり、子供の人口があまり多くないという状況が示されております。ところが、先ほど申し上げましたとおり、若年層のご家族の流入が見られることから、徐々にではございますが、今後子供の増加が見込まれるのではないかと考えております。

次に、「2. 地域の課題」でございますが、今回3点挙げてございます。

1点目については、先ほど申しましたとおり、高齢化に伴いまして、介護予防の促進、高齢者の孤立の防止等を挙げてございます。

2点目といたしまして、公民館の利用団体の会員の高齢化や減少等によって、団体活動がだんだんと阻害されてきているということが一つ問題としてございます。

最後に、3点目といたしまして、周囲に青少年や子育て世代が気軽に集まれる場所が少なく、青少年同士、子育て世代同士が落ち合える場所が少ないということが地域の課題として挙げられると考えております。

それぞれの課題に対し、まず第1の高齢化についての重点目標といたしまして、こちらについてはそのままお読みいたします。「深刻な地域の高齢化に対応していくため、地域団体や地区社会福祉協議会と連携し、高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、仲間づくりを目的とした学習や活動を推進する」。また、「高齢者の希望に合ったデジタルデバインド対策講座を引き続き実施し、デジタルデバインドの解消を図る」というものでございます。

2番目のサークル活動等の困難化に対しましては、重点目標の(3)「サークル活動が継続して行えるよう、サークル活動を支援するとともに、新たな会員獲得に向けたサークル支援事業を引き続き実施していく」ということを目標としております。

また、3番目の青少年の居場所づくり等につきましては、目標といたしまして、「青少年育成団体や学校、児童ホーム等と協力しながら、青少年の活動の場を確保するとともに、創作活動や新たな仲間と遊ぶことの楽しさを体得できる取組を実施していく」。

また、5番目として、「市民協働による公民館活動を推進し、市民ニーズを取り入れ幅広い世代の市民に、多様な学習や芸術活動を提供する」というものでございます。

ページをめくっていただきまして、横書きの具体的な事業になります。

まず、青少年事業でございます。11番の「ふなばしハッピーサタデー」と12番「えびがさくこどもまつり」を、地域の青少年関係団体の皆様の参加によってつくります青少年事業実行委員会を中心として実施してまいります。

次に、高齢者対象事業でございますが、少し前にありまして、4番「海老が作寿大学」を生涯学習コーディネーターとの協働によりまして実施してまいります。こちらについては、国際理解や音楽鑑賞会、また、様々な内容についてコーディネーターとも協働しながら実施してまいりたいと考えております。

次に、成人事業でございますが、7番の「市民企画『学びの糸口～心楽暮（こらぼ）～』」を、地域の市民の皆様から出ております企画委員と協働して、企画から運営まで実施してまいります。内容といたしましては、座学、散策、それからレクチャーコンサートと、様々な角度から学びの糸口を皆さんに探っていただきたいということで実施をしております。また、こちらの来年度の事業については、座学が「あわじ結び」、水引の工作でございます。それから、散策は旧前田邸ということで、駒場のほうに散策に行き、歴史を探っていただきます。また、レクチャーコンサートについては「管楽器とピアノ」ということで、様々な音楽活動または楽器に興味を持っていただけるような企画を考えております。

1枚めくっていただきまして、次ページの21番「七夕コンサート」、22番「クリスマスコンサート」についても、やはり同じように地域の方から実行委員を募っております。こちらのコンサートについては、赤ちゃんを連れて来られるコンサートということで皆様に認知していただいていると考えておりまして、今後も気軽に来ていただいて音楽に触れていただくものを推進していきたいと考えております。

以上、海老が作公民館の令和8年度の事業計画でございます。よろしくお願いいたします。

○金子副委員長

では、小室公民館、お願いします。

○小室公民館長

令和8年度の小室公民館の地域の状況、課題、重点目標についてまず説明いたします。

まず、「1. 地域の状況」につきましては、大きく変わっておりません。小室は千葉ニュータウンの一部に位置しているため、印西市や白井市との関わりもあり、サークルや講座の参加者としてその方面から来られる方もいるようです。人口が少し減ってきておりますが、小室地域は環境や都心へのアクセスのよさを求めて子育て世代の入居も多い状況です。

「2. 地域の課題」についてです。小室は商業施設などが少なく、ショッピングセンターや友人と会話を楽しめるようなカフェもほとんどなく、自宅以外で地域の居場所が少ないというのが実情です。また、子供と高齢者の割合が市全体より高く、近年進むデジタル化に、高齢

者が情報弱者となりやすい傾向がございます。

「3. 重点目標」ですが、以上の地域の状況・課題を踏まえまして、4つの目標を立てています。

1つ目の目標としまして、子育て世代の入居も多いことから、「青少年教育の充実を図るため、各種団体と連携して、体験学習等、健全育成を図る」という目標を掲げております。

2つ目の目標としまして、地域での居場所が少ないことから、多くの方に気軽に公民館に足を運んでもらえるよう、「地域住民の様々なニーズを捉え、多様な学習機会の提供に努める」という目標を立てております。

3つ目の目標としまして、高齢者の割合が高いことから、「高齢者の交流の場と健康増進を図る学習機会の提供に努める。また、デジタルデバインド対策事業を促進する」という目標を掲げております。

4つ目の目標としまして、新しく小室に引っ越してこられる子育て世代もいることから、「子育て世代が地域とふれあい、地域に愛着が持てるように、各種活動の機会を設ける」という目標を立てております。

この重点目標に基づきまして、令和8年度の事業計画（案）を立てましたので、新規事業につきましてご説明いたします。

青少年対象事業としましては、1番「ふなばしハッピーサタデー事業」になります。来年度は10事業を予定しておりますが、うち3つの新規事業を実施します。1つ目は「ダイヤモンドアート制作」、2つ目は千葉スカイセイラーズによる「小学生向けチアダンス教室」、3つ目は「スポーツ雪合戦」を実施予定です。また、「小室こどもまつり」では、例年どおり地域団体に協力を依頼するほか、今年同様、小室中学校の生徒にもボランティアの募集をする予定です。

ハッピーサタデー以外の青少年事業としましては、3番「東大卒が教えるノート術」を実施します。講師は勉強法デザイナーとして本や文具も出しているみおりんです。中学生とどんな講座に参加したいかと話した際、勉強の講座という声もあったことから、中学生・高校生の利用者を増やすべく企画しました。

続きまして、成人一般向けの新規事業です。新規事業は番号を丸で囲っておりますので、そちらをご覧くださいと思います。まず、8番「講談」を実施します。軍記物語や、8月ですので怪談と、地域の方が喜ぶ内容で実施したいと考えております。9番は、夜間事業としまして「秋の夕暮れコンサート」を実施します。5時開演とし、秋の夕べに音楽を楽しんでもらえるようにと考えております。10番目は「落語」で、新春寄席として船橋出身の立川談修さんにお越しいただきます。13番目は「豊臣の時代」で、こちらは大河ドラマ「豊臣兄弟」にちなんで、歴史の裏側や教科書には載っていない豊臣時代の出来事を掘り下げ、学ぶ講座です。15番目は「シニアの美容講座－美眉の描き方－」ということで、65歳以上の方を対象とした美しい眉毛の描き方講座を実施します。高齢になってもメイクを楽しみ、明るい気持ち

になって外に出て交流を図っていただきたいと企画しました。16 番目は「おとなの『ジェルネイルアート講座』」です。今年度、自宅でできる爪のお手入れ方法を学ぶセルフネイル講座を実施し、大変好評でした。8 年度はステップアップして、好きなデザインのネイルを楽しむジェルネイルアート講座を実施します。

続きまして、次のページ、高齢者対象に関してです。先ほどご説明した講談や落語は、高齢者の皆様にもお楽しみいただけたらと思います企画しておりますが、17 番の「小室寿大学」についても、地域の防災講座をはじめ、健康体操などの軽運動や、みんなで歌を歌ったり、音楽鑑賞など、高齢者の孤立解消のためにも喜んでいただけるような内容で実施していきたいと考えております。

次に、子育て世代に関してです。21 番「家庭教育セミナー」では、3 つの事業を実施します。1 つ目は「お天気キャスター講座」です。職業選択について考えるきっかけとなるような講座を毎年実施しておりますが、来年度は気象予報士を呼んで講座を実施する予定です。2 つ目は「いのちのコンサート」です。ピアノの演奏に合わせて犬や猫をテーマとした絵本をスライド投影するコンサートで、命の大切さを子供たちに伝えていく狙いがあります。3 つ目は、「多文化共生事業」として中国の国際交流員による水餃子づくりを実施します。子育て世代への新規講座は、ほかに、23 番目「プログラミング教室」を実施予定です。また、24 番「子どもネイルオンチップ教室」として、小中学生を対象に子供用のつけ爪にかわいらしいデコレーションをあしらう教室を開催予定です。

その他、地域交流を図る事業として、「小室公民館サークル体験・見学」、「小室文化まつり」を実施します。文化まつりでは、今年度、小室中学校文化部に作品展示をしていただきましたが、来年度も実施予定です。また、小室は地域の夏まつりで地域の方が花火を上げたりと、とても活力があるまちですが、来年度も文化まつりで社会福祉協議会をはじめ小室地区連や青少年育成会にご協力いただくなど、地域との連携を深めていきたいと考えております。

8 年度の事業計画の概要は以上となります。

○金子副委員長

では、八木が谷公民館、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館でございます。地域の状況等に関して説明させていただきます。

「1. 地域の状況」としましては、八木が谷公民館は市の北西部に位置し、白井市や鎌ヶ谷市と隣接しています。元は農村地区でしたが、昭和 40 年代以降急激に人口が急増し、現在は古くからの集落の中心部を除いてほぼ全域が宅地化され、住宅が密集した地域となっています。対象人口は去年の令和 7 年 4 月 1 日現在で 2 万 3,024 人で、高齢化率 35.8%と、市内でも高齢化率が高い地域となっています。また、公共交通不便地域解消事業により、平成 25 年度から小型バスが運行し、令和元年 10 月より買物困難地域を対象とした移動販売が開始されています。

そのような地域となりますことから、「2. 地域の課題」としましては、管区の小中学校の児童生徒数が5年前と比べて減少している。また、管区の高齢化率が高く、今後も高齢化が進んでいく。八木が谷地区は公共交通機関が限られており、買物困難地域もあるなど、外出しづらい環境となっている。核家族化する家庭により、親だけで子育てを担わなくてはならない。また、サークル、公民館事業とも、成人の年代の公民館利用者が少ない。

これらの課題に基づいて、重点目標を設定いたしました。

(1)「人口の減少、高齢化が進む地域であっても、地域交流の他、子供同士や世代間の交流が生まれるような機会を提供することにより、人との関わりの中で生活していることを知り、地域への愛着、地域貢献の意識を育む。また、青少年については、体験活動を充実させて、周囲との関わりを増やす」。

(2)「地域の高齢化率が高いことから、高齢期を豊かに生きるために、健康維持や増進のための学習機会の提供を推進する」。

(3)「八木が谷地区は交通機関が限られることや、買い物困難地域もあることなどから、デジタルデバインド対策を推進することにより、高齢者などの方が生活しやすいように学習の機会を提供する」。

(4)「子育ての中で悩みを抱えることが多いことから、家庭への教育を推進する」。

(5)「学習に期待することは、心身の健康を維持・増進することを重視していることや、何かを継続して学ぶことが生活の充実につながると考えられることから、健康関連はもちろん趣味の幅が広がるような事業を実施していくとともに地域交流にもつなげていく」。

(6)「サークルの高齢化を防ぐため、新たな会員が入会できるような事業を行い、サークルの活性化を図る」としました。

個別の事業計画、次のページのA4の横版のほうをご覧ください。

先ほどの重点目標(1)に対する青少年対象事業としましては、1番の「ふなぼしハッピーサタデー事業」、5番の「みやさこ子どもまつり」等の事業を実施していきます。みやさこ子どもまつりは、地域の方たちのご協力により、大規模に実施しているものでございます。

(2)の高齢者対象の事業としましては、21番の「八木が谷寿大学」や22番の地区社協と在宅介護支援センターと共催で行っている「健康セミナー」、また、高齢者を対象とした24番の「シニアリトミック」を行います。

重点目標(3)のデジタルデバインド対策事業としましては、ページ戻っていただいて、No.11の「デジタルデバインド対策事業」の入門編、LINE、防災編の3件を実施することを考えております。

また、(4)の家庭教育の関係につきましては、No.7「本館家庭教育セミナー」及び8番から10番の「就学時健診等における子育て学習」の実施を考えております。

(5)としまして、成人への学習提供につきましては、13番「ベトナム料理教室」や14番「自然観察講座」、16番「はじめてのハンドリフレ」、ページ裏面の18番「新聞バッグづくり」

等の実施を考えております。また、丸のついている新規講座を実施する予定となっております。

重点目標（6）のサークルの活性化につきましては、No.19の「サークル体験・見学会」を実施することにより、サークルへの入会もしくはサークル活性化を考えております。

簡単ではございますが、八木が谷公民館は以上でございます。

○金子副委員長

ありがとうございました。

ちょっと長くなってきてしまったので、ここで休憩を入れたいと思いますが、よろしいですか。20分から開始でよろしいですか。それでは、20分まで休憩といたします。

（休憩）

○金子副委員長

では、よろしいですか。議事を再開いたします。

三咲公民館からお願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。三咲公民館の令和8年度の地域の状況、地域の課題、重点目標（案）をご覧いただければと思います。

まず、「1. 地域の状況」についてですが、三咲地区は人口が緩やかな増加傾向となっており、令和7年4月1日現在の世帯数は7,653世帯、人口は1万7,355人となっており、令和6年度と比べ、世帯数で80世帯、人口は1人増加という状況となっております。三咲駅から徒歩圏内ということや、児童ホーム、老人憩の家との併設ということもあり、三咲地区以外の方からも幅広く利用されている状況です。

「2. 地域の課題」についてですが、三咲地区は高齢化率が25%とやや高い状態にあります。このため、閉じこもりや運動をする機会が減っている高齢者が多いと思われます。また、町会・自治会の役員やメンバーの高齢化が進み、地域活動の後継者が不足している状況や、公民館を利用する社会教育関係団体の緩やかな減少傾向もあり、若い世代の利用も少ない状況です。このようなことを6項目挙げさせていただいております。

「3. 重点目標」についてですが、地域の高齢者の生きがいがづくりや心豊かに過ごせる場の提供、社会教育関係団体の育成、若い世代の利用を図ってまいります。また、併設している児童ホーム等との連携・協力による地域の子育て世代が交流できる場所の提供、青少年の居場所づくりへの寄与等を図ってまいりたいと思います。また、休館中も事業の実施に努めたいと思います。このようなことを7項目挙げさせていただきました。

三咲公民館の地域の状況等については以上となります。

続きまして、横になっています令和8年度三咲公民館の事業計画（案）につきましてご説明させていただきます。

先ほど冒頭にも北部公民館長よりご説明がありましたが、三咲公民館は令和8年度に休館

を予定しております。休館について先にご説明させていただきます。休館は令和8年7月から令和9年3月までの予定で、受水槽更新、トイレ改修、エレベーター更新等の改修工事を行う予定です。工事期間中は休館となりまして、三咲公民館は使用できなくなります。再開は令和9年4月の予定です。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

休館予定のため、令和8年度の事業計画(案)につきましては、休館前の4月から6月までの3か月間の事業計画が主なものとなっております。上から順番に主な事業についてご説明させていただきます。

青少年対象事業ですが、「ふなばしハッピーサタデー事業」として、環境問題について講座を行います。

成人対象事業としましては、休館中は公民館が使用できないことから、外で集合し、現地解散になりますが、No.4を新規事業として、八木が谷にある工場の見学を予定しております。

高齢者対象事業としまして、「三咲寿大学」は、例年ですと5月から開始となりますが、開催を前倒しし、4月から開催する予定です。「デジタルデバイド対策講座」、「ふなばしシルバーハビリ体操教室」も4月から行う予定です。

その他、複数対象事業としましては、児童ホームとの共催による「子育て支援事業」や、例年実施している「三咲おもちゃの病院」や「卓球開放」など、休館前まで行う予定です。

また、「夏休みこども応援プロジェクト」、「文化祭」、「こどもまつり」などの事業は、例年の実施時期が休館中のため、実施できません。

三咲公民館からの説明は以上となります。

○金子副委員長

続いて、松が丘公民館、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。令和8年度松が丘公民館事業計画について、資料の概要をご説明いたします。

まず、「1. 地域の状況」です。松が丘地区は昭和30年代以降に宅地開発が進んだ住宅地域で、現在は宅地を中心に少量の農地や公園・緑地が点在する住環境となっております。地域内には幼稚園から高校までが設置されており、幼少期から青年期までを同一地域で過ごす子供が多い特徴があります。一方で、65歳以上の高齢者人口比率は約37%と、市内で最も高い水準にあり、高齢化が大きく進行しています。また、近年のバスの路線廃止や減便などにより、高齢者の通院や買物など、日常生活への影響が懸念されています。

続きまして、「2. 地域の課題」です。3点申し上げます。

まず1点目、子供と子育て世帯に関する課題です。地域内に幼稚園から高校まで設置されている特性を生かし、成長段階に応じて地域と関わり、地域への愛着を育む機会を確保することが重要です。しかし、未就学児世帯については、核家族化や地域コミュニティの希薄化により、孤立しやすい状況が続いています。

2点目は、高齢者に関する課題です。各種調査結果から、松が丘地区は、認知症、うつ、IADL 低下の3項目でリスクが高い傾向が示されており、併せて、主観的幸福感が低い高齢者の割合が高いことも当地区での課題となっています。また、交通不便という地域特性に加え、高齢化の進行により外出機会や社会的つながりが減少し、フレイルや孤立が進行してしまう状況にあります。

3点目は、公民館運営の方向性に関する課題です。これまで公民館では、団体やサークルが主体的に企画・運営を行い、自立的に活動を継続できることを前提として支援を行ってきました。しかし、高齢化の進行や交通不便といった地域特性により、サークル活動を担う人材の確保や世代交代が難しくなっており、活動の継続が立ち行かなくなる状況が現在では見え始めています。サークルの自立的支援を主とした公民館運営では、会が解散した場合、その構成員と公民館との接点が失われることにもなり、地域活動や社会参加から離れてしまうおそれがあります。そのため、サークルの有無に左右されず、地域住民が継続して公民館と関わり続けられる仕組みを構築していくことが公民館としての課題と捉えています。

こうした状況を踏まえ、令和8年度は、当館では3つの重点目標を設定させていただきました。

1点目は、子供と子育て世帯への支援です。保健センターや学校、児童ホーム等と連携し、子供たちの主体性を育む事業を展開するとともに、地域住民の協力を得ながら、世代を超えた交流を進め、「ふるさと船橋」、「ふるさと松が丘」に愛着を持つ人づくり、地域づくりを目指します。

2点目は、高齢者事業の充実です。松が丘地区の高い高齢化率を踏まえ、高齢者事業を公民館事業の中心に位置づけます。高齢者を、支援される側としてではなく、主体的に地域と関われる存在と捉え、「刺激・習慣・自立」を柱として、外出や交流の習慣化、新たな学びや世代間交流を通じて、フレイル予防と主観的幸福感の向上を図ります。

3点目は、公民館運営の方向性です。従来の団体活動支援を大切にしつつ、地域の実情に応じて公民館主催事業に一定の比重を置いた運営へと段階的に転換します。主催事業を入り口として地域との接点を確保し、参加や交流が習慣化され、将来的には自主的な活動へつながる公民館運営の仕組みを構築していきます。

続きまして、事業計画を具体化した事業計画シートから、重点目標に関するもの、新規事業を中心に順にご説明いたします。横の表をご覧ください。

まず、子育て支援事業として、シートの番号12「(仮) はじめてのえいごあそび」です。これまで実施してまいりました親子ビクスを一度見直し、児童ホームからの提案で新たに英語遊びを取り入れた事業を調整しています。公民館と児童ホームの共催により、未就学児親子が気軽に参加できる場づくりを目指します。

次に、新規事業として、シート番号25「夜も★リフレクソロジー体験講座」です。平日日中の講座では定員超過によりお断りしたことから、週末の夜間帯に実施し、日中の参加が難

しい方にも体験の機会を広げます。

続いて、番号 26「脳を活性化！大人の塗り絵講座」では、明治安田生命の提案により、気軽に参加できる講座内容として、成人対象の塗り絵を脳の活性化と創作活動の場として提供いたします。

続きまして、高齢者事業、シート番号 32「松が丘寿大学 放課後部活動『文化部』」です。従来の寿大学を一部アレンジし、午前中の講座終了後も継続して学べる場を部活動と題して任意で参加していただける機会をつくれればと試行で実施するものです。同一会場でお昼の時間をまたいで実施することから、昼食持参者にはお仲間との食事・交流の時間を楽しく過ごしてもらえればと思っております。午後の部活動は「文化部」と設定して、教育委員会の文化課や郷土資料館の専門職と連携した事業企画とし、地域の文化・歴史・芸術への関心を深めるとともに、外出機会の確保、社会参加の促進につなげたいと考えています。

最後に、シート番号 33「松が丘卓球バレー教室」です。松が丘地区スポーツ推進委員会との共催により、今年度試行で実施した事業です。ユニバーサルスポーツである卓球バレーを通じて、無理なく体を動かしながら交流を図ります。定期開催とすることで開催日を覚えやすく、一人でも、誘い合っても、「決まった曜日の時間に公民館に行けばスポーツに参加できる」というオープンな環境をつくります。運動や交流を生活の中で習慣化するとともに、誰もが楽しめるユニバーサルスポーツの普及にも寄与してまいります。

このように、令和 8 年度は、重点目標に基づき、子育て支援、高齢者事業、主催事業の充実を図るとともに、近隣学校、児童ホーム、地区社会福祉協議会、スポーツ推進委員協議会、文化課、郷土資料館など、様々な関係機関との連携を生かした事業展開を進めてまいります。外部講師の事業は、参加のきっかけとしては一定の効果があるものの、継続性には限りがあるということもあり、当館としては、続けられる仕組みづくりに着目して事業を位置づけ、参加が習慣化されるよう事業計画に落とし込んでいます。今後も公民館主催事業を入りに、「刺激・習慣・自立」を柱に、松が丘地区における生涯学習と交流の拠点としての役割を果たしてまいります。

松が丘公民館からは以上でございます。

○金子副委員長

では、坪井公民館、お願いします。

○坪井公民館長

まず、「1. 地域の状況」でございますが、坪井地区は市の北東部に位置し、八千代市に隣接しております。令和 7 年 4 月 1 日現在、世帯数 5,021 世帯、人口 1 万 3,137 人で、世帯数、人口ともに微増しており、1 年間で 156 世帯増、人口 185 人増となっております。平成 9 年からの土地区画整理事業によりまして人口が急増し、新たな住民を中心に子育て世代が多く、15 歳未満の人口比率が高い地域となっております。4 月 1 日現在、20.3%を占めております。管区内唯一の坪井小学校の児童数は 1,100 人を超えており、1,174 人となっております。

次に、「2. 地域の課題」でございますが、(1)として、防災意識が高い住民が多く、坪井地区自治会連合会の方などから関連講座の開催要望などがあり、ニーズに合致した支援が必要と考えております。

(2)として、15歳未満の人口比率が比較的高いことから、子供たちの体験活動、居場所づくりが必要と考えております。

(3)として、新しい市街区には若い世帯が多いですけれども、64歳以下が85%を占めておりまして、1万1,191人となっております。従前からの住宅地には高齢者が生活する地域も多いです。ちなみに高齢者数は全体で15%を占めておりまして、1,946人となっております。様々な年代や様々な生活環境に見合った学習機会の提供が必要と考えております。

(4)としては、引きこもりがちになったり、コミュニケーション不足にならないよう、高齢者同士の交流と運動不足対策が必要と考えております。

(5)は、人口構成の中心を占める40~50代(全体で36%、4,757人)の住民を対象に、子育ての支援や親子の絆を深めるような機会の提供が必要と考えております。

次に、「3. 重点目標」でございますが、地域の課題を基に5つの目標を掲げさせていただきました。

(1)として、「地域の防災について、体験型・実践型の防災学習を実施すること」としております。

(2)といたしまして、「地域の各種団体・機関と連携し、子供たちに体験活動や学習の場を提供し、青少年の健全育成・居場所づくりに取り組む」としております。

(3)といたしまして、「様々な世代や環境の方々のニーズを的確に捉え、また、福祉や国際社会とのつながり等を視野に入れながら魅力ある事業を展開し、地域の方が積極的に学習・文化・スポーツ活動に携われる場を提供する」としております。

(4)につきましては、「高齢者が家に引きこもらないように、高齢者向け事業を定期的に行い、生きがいづくり・仲間づくりを支援する。また、運動機能を維持するための講座を行う」。

次のページでございますが、(5)につきましては、「子育て世代を支援し、また、親子の絆を深めるために、親子で一緒に参加できる事業等の充実を図る」としてございます。

続きまして、具体的な事業でございますが、次のページの公民館の事業計画の表に基づいて、主だった事業につきましてご説明してまいります。

まず、青少年対象事業でございますが、事業計画2の「こどもサイエンス事業」や計画3の「科学って楽しいな」などの講座を、坪井公民館の日本大学と近いロケーションを生かして、日本大学の教授を講師とし、実験を通して科学への興味を持ってもらえるような事業を実施いたします。スタッフとして日大の大学生も参加していただきます。

成人一般対象事業につきましては、新規事業を中心にお話しさせていただきますと、まず事業計画シート9の「はじめての切り絵教室」でございますけれども、イラストを題材に切り絵を体験し、オリジナルの切り絵を作製して、新たな趣味づくりの一步といたします。

次に、計画 10 の「薬膳料理講座」でございます。調理師で薬膳マイスターの講師を招き、薬膳の効能や種類を学び、実際に薬膳料理づくりを体験し、試食いたします。

続きまして、計画 11 の「健康ウォーキング講座」でございます。正しい靴の選び方、履き方、歩き方を学び、後半は隣接する近隣公園で実際にウォーキングを行う予定でございます。

続きまして、計画 12 の「耳つぼマッサージ講座」でございます。いつでもどこでも自分でできる耳つぼマッサージにつきまして、つぼの位置や効能を学び、マッサージのやり方について学習いたします。

計画 15 の「再び社会に出るためのメイクとファッション講座」でございます。講座名は今仮称になってございますけれども、再チャレンジをする方のリカレント教育の一助として、再び社会で活動するときを想定して、自分を輝かせるメイク術と自分に合ったファッションコーディネートを学びます。

高齢者対策事業といたしましては、計画 18 の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、計画 19 の「介護予防教室」を健康づくり課と共催で実施します。また、計画 20 の「坪井みのり学級」を通年で様々なテーマを選定して実施し、生きがいつくり・仲間づくりを支援します。また、運動機能を維持するための講座を行ってまいります。

その他の事業といたしましては、良好な親子関係を構築するために学習機会を提供することを目的に、計画 21 の「家族でチャレンジ体験教室」を実施します。親子で学べる学習機会を提供することで、子育て世代を支援し、絆づくりの一助といたします。また、次の計画 22 「親子で学ぶ自分に似合うコーディネート」につきましては、子育て支援の一環として、親子で自分に似合う色合いやスタイルのコーディネートを学び、自分磨きの一助といたします。いずれも新規事業でございます。

坪井公民館からは以上となります。

○金子副委員長

ありがとうございました。

では、議事（2）について、ご質問、意見等があればお願いいたします。

はい、どうぞ。

○前田委員

度々すみません。北部公民館のほうで、横書きの事業計画の中の新しい事業の 11 番に「交流分析『エコグラム』講座」という企画がございます。ちょっと見慣れない言葉ですが、この講座の開催の狙いは何だろうなということと、それから、エコグラムをつくるに当たっては心理テストの結果を数値化してつくるのかなと思いますが、その辺のやり方もこの講座では学べるのでしょうか。その点をちょっとお聞かせ願えればと思います。

○北部公民館長

心理学で使うエコグラムを使って、親と子の関係とか、子供から見た親、親から見た子供の心理的な分析ができるそうです。それをしながら、家族関係の見直しというか、絆を確認した

り、よりよい関係性等を確かめる、そのような効能があるということで、これを親子を対象に開催したいなというところで企画しております。

○前田委員

結果を楽しみにしております。

○北部公民館長

はい、ご報告いたします。

○金子副委員長

ほかにはよろしいですか。

質問がなければ、議事（２）について、承認ということでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○金子副委員長

異議がないようですので、議事（２）「令和８年度各公民館の地域の状況・地域の課題・重点目標（案）」、「令和８年度各公民館の事業計画（案）」につきまして承認いたします。

会議全体を通して何か質問等がありますか。よろしいですか。

では、以上をもちまして、令和７年度第５回北部公民館運営審議会を閉会いたします。

事務局、何かあったらお願いいたします。

○事務局（二和公民館長）

皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

ここで事務局より連絡がございます。北部公民館長、お願いします。

○北部公民館長

皆様、慎重審議ありがとうございました。

前回もお伝えしましたが、お手元に配付しました審議会の日程でございますとおり、令和８・９年度２か年の審議会委員さんの委嘱式及び第１回の公民館運営審議会が４月３０日でございます。場所は東部公民館で、開始が１４時からになります。場所と時間が変更になっていきますので、ご注意くださいまして、またご案内しますがお伝えしておきます。

それから、最後に、残念ながら今回当審議会委員をおやめになる方をご紹介いたします。

齋藤委員ですが、これまで社会教育関係の委員として八木が谷スポーツクラブのほうから出席いただきまして、平成２４年度から７期１４年にわたりご審議いただき、様々なご意見、ご助言をいただいております。このたび、残念ながら後任に引き継がれる形となりました。

ここで、齋藤委員から一言ご挨拶をいただければと思います。

○齋藤委員

座ったままで失礼いたします。今言ったとおり、船橋市の活動に参加することになりましたときはまだ若く、３８か３９歳から、欠かさず切れることなく現在まで。受けて重複することもありました。計算しましたら、３５年間ずっとさせていただきました。

自分はもう 70 代後半になりますので、今度は地域に戻りまして、八木が谷スポーツクラブでも私は健康増進教室を担当しておりますので、まだまだ公民館とは縁が切れずに活動をさせていただきますし、周りの方たちと協力しながら、自分も手伝えることは協力してまいりたいと思います。

皆様にもいろいろお世話になりましたし、地区館長さん方にもいろいろお世話になりました。ここで改めて、本当にありがとうございます。

○北部公民館長

齋藤委員、長い間本当にありがとうございました。

次に、北部公民館のブロック 8 館の館長のうち 3 人が役職定年になりまして、館長として本審議会に出席するのは本日が最後になりますことから、ちょっとお時間をいただきまして一言ずつご挨拶申し上げます。

二和公民館、小倉です。

○二和公民館長

4 年間でしたけれども、皆様と一緒にこういう形で会議等に参加させていただくことができて、とても勉強になりました。

自分は市役所に入所して 42 年たちまして、千葉市民ですけれども、人生の 3 分の 2 以上船橋におります。私が入った頃はちょうど八木が谷公民館ができて 1 年目で、まだ三咲も松が丘も坪井も空き地の状態の時代に入りました。

4 月から 63 歳まで定年延長という形で、市役所の中のどこかに配属されることになりますので、またこうやってお会いする機会がありましたら、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。どうも 4 年間ありがとうございました。

○北部公民館長

次に、海老が作公民館の作田でございます。

○海老が作公民館長

3 年間、長いようで短いような、いろいろ勉強させていただきました。

私は小倉館長とは逆で、船橋生まれ、船橋育ちですので、人生の大半が船橋でございます。この後も市役所にお世話になりますので、どこかでお会いしましたらお声がけいただければとてもありがたいと思います。3 年間ありがとうございました。

○北部公民館長

次に、坪井公民館の福原でございます。

○坪井公民館長

3 年間お世話になりました。ありがとうございました。私は 36 年間船橋のほうに勤めておりまして、働き出した頃は 60 歳までまだまだ長いなと思っていたのですけれども、今になってみると思いのほか早かったなと感じております。皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

4月からもまだ船橋のほうで働かせていただきたいと思いますので、またどこかでお会いさせていただくこともあるかと存じます。そのときはお世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

○事務局（二和公民館長）

それでは、最後に、引き続き事務連絡となります。

次回の会議は、先ほど片岡館長から話がありましたとおり、4月30日の木曜日、委嘱式がございます。時間が変わりました、14時を予定してございます。また、会場は従来の中央公民館が工事中ということで、今回は東部公民館となります。駐車場をご用意できませんので、お車での来館はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

以上です。本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

午後3時47分閉会